

伊那市地域おこし協力隊 活動紹介
平成 26 年度下半期

ミッション名	いなかもん（伊那 Come on） 開拓団	氏名	宗京 裕祐
--------	--------------------------	----	-------

区分	活動内容	今後の対応
業務の概要	<p>農業の振興に関する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 隊員の農業従事 ・ 農業法人との連携及び経営戦略の構築 ・ 遊休農地の再生及び団地化の推進 ・ 地域農産物の振興及びブランド化の推進 ・ 農産物の販売促進及び地産地消の推進 	<p>活動予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遊休農地の再生→担い手となる就農者を呼び込むための環境整備の実施。 ・ 地産地消の推進→イベント等を通じた普及活動や、地域農産物の給食利用推進等への取り組み。 ・ 有機農業による地域のブランド化→有機農業の推進及び地域のブランド化実現に向けた有機農家への経営支援。 ・ 地域農産物の振興→地域農産物の販売促進、ホームページ作成、交流イベント等による地域及び地域農産物の外部へのPR。 ・ 農業従事及び各種研修への参加
これまでの活動内容	<p>▼写真①</p>  <p>▼写真②</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業法人にて稲刈り及びその関連作業、蕎麦の収穫、小麦の種まき等の研修を受けながら農業従事。（写真①） ・ 上伊那農業改良普及センター主催の新規就農実践塾や、有機農業研修など各種農業研修を受講し農業に関する知識を付けるとともに、若手農業者との関係構築、意見交換に努めた。 ・ 信州大学の地域戦略プロフェッショナル・ゼミ（環境共生の未来学Ⅰ）を受講。主に地域における獣害対策について学び、修了式では受講生を代表して最終発表を行った。（写真②） ・ 農産物販売に係るイベントへの参加・視察。 ・ 新規就農希望の移住者を呼び込み遊休農地を活用してもらうため、地域で有機農業を推進していきたいとの考えに至る。それに向けて有機農家の収益確保の仕組み作りに取り組む。（顧客開拓、イベント企画等） ・ 地元住民や地元農家との交流及び地域おこしに向けた話し合い。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の方々との話し合いの機会がまだ少なく、彼らのニーズを汲み取れていないと感じる。地道にヒアリングを進めていきたい。 ・ 活動の絞り込みを適切に行い、全てが中途半端になってしまわないように注意して活動していきたい。 	